

くすのき



～ ご参観ありがとうございました ～

9月13日（水）の授業参観では、「特別の教科 道徳」の授業を行いました。4月28日発行の学校だより2号で、学校教育目標とその達成に向けての7つの実践目標をお伝えしました。その一つ「豊かな心」を育む道徳・人権教育の充実の一端を公開し、保護者の皆様にも道徳教育について、一緒に考えていただく機会としました。

本年度も昨年度と同様に、全学年の学習内容と感想を掲載して、本校の取組を紹介します。この紙面を通じて、身近な道徳・人権に関する会話を増やしていただけたらと願っています。これからも豊かな心を持ち、仲間とともによりよく生きていく子どもの育成に取り組んでまいります。

ご協力をよろしくお願いします。



【 4年：すれちがい 】

〈学習内容とねらい〉

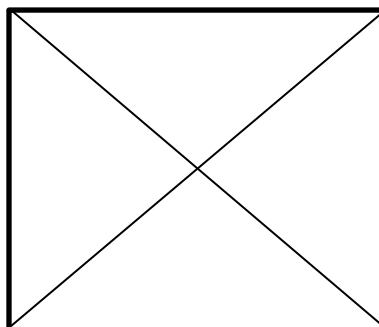
みどりさんとえり子さんのすれ違いの原因や問題の解決について考えることを通して、考えや思いを伝え合い、相手を理解し認めていく道徳的判断力を高める。

〈児童の感想〉

- ・相手と意見がすれ違ってしまったとき、人の話をしっかりと聞くことが大事だと思います。そして自分が悪いことは素直に謝ることが大事だと思います。
- ・相手の意見を聞かずに自分の意見だけを押し通すとけんかになってしまいます。相手だけ悪いのではなくて、自分も悪いところがあったのかなと考えてお互いに伝えあうことが大切だと思います。

〈保護者の感想〉

- ・低学年の時は上手く約束ができず、すれ違うことも多かったですが、回数を重ねることで約束の仕方や相手の気持ちなどがくみ取れるようになってきたように思います。スマートフォンを持っていつでも連絡ができる時代になりつつありますが、言葉で相手の気持ちを聞き自分の気持ちを伝える経験をどんどんしてほしいと思っています。
- ・意見や考えがすれ違ってしまふことはよくあることです。それ自体が問題なのではなくそうなった時に相手の事情や気持ちをおしはかる想像力を持つこと、相手の意見を聞き理解しようとする姿勢が大切だと話をしました。



【 2年：いろいろな かぞく 】

〈学習内容とねらい〉

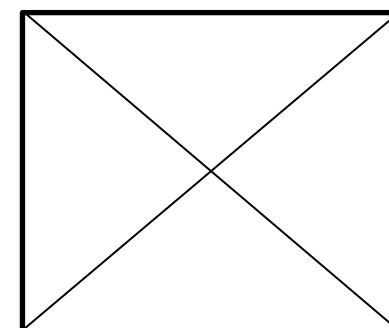
様々な家族の在り方があることを知り、自分らしさ、その人らしさに気づき、認め合おうとする道徳的心情を育てる。

〈児童の感想〉

いろいろなかぞくだって、みんな大切にしているってはじめて知りました。あと、助け合いやゆずり合い、やさしさ、あいやほかにもいろいろなことがあったりしてみんなで助け合っていきます。

〈保護者の感想〉

世間一般的には〇〇であるという偏見にとらわれず、多様性を尊重するというとても深いテーマで、改めて考えさせられました。目の前にある状況や人の姿をありのまま受けとめる事は、実は大人である私たちにとっての課題であると感じました。



【 5年：「だれも知らないニュース」 】

〈学習内容とねらい〉

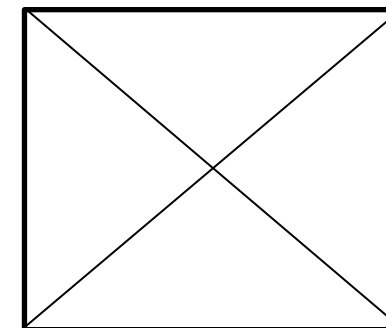
主人公の行動の問題点とどうすればよかったかについて考えることを通して、自分の行動に伴う責任の大切さに気づき、責任ある行動のできる道徳的態度を育む。

〈児童の感想〉

ゲームやインターネットを使う時は、親の許可を得たり分からないことがあったら家族や友達に相談したりしたいと思います。そうしないと、主人公の美夏のような失敗をしてしまうと思いました。インターネットを使うときは、本当にそれはやっていいことなのかを確認してから使った方がいいと思いました。インターネットは、自由だけどちゃんと責任をもって使う必要があると思います。

〈保護者の感想〉

ネット社会になり、とても便利で助かる反面いろいろな問題が身近にある時代です。善し悪しをしっかりと判断できるよう、家族でも使い方は話すことが大切であると感じました。目に見えない相手がどう受け取るか、想像力をふくらませることも大切であると感じました。



【 1年：はしの上のおおかみ 】

〈学習内容とねらい〉

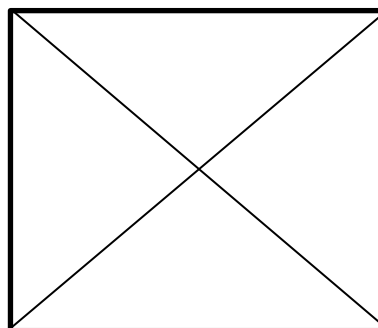
弱い者をいじめて喜んでたおおかみが、くまのやさしさにふれ、誰にでも親切にできるようになったおおかみの心の変化を考えることで、身近にいる人にあたたかい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

〈児童の感想〉

だれにでもやさしくしたりしんせつにしたらあいてもいいきもちになる。ほかのひとにもやさしくしたい。

〈保護者の感想〉

「人に親切にすると、きっと自分にも良い事が返ってくるよ」という話をいつもしています。学校や友だちに対して、できていても家の中やきょうだいに対してはできていない時があるのでこのお話を思い出して、くまさんみたいにできたら素敵だねと話しました。

【 くすのき：いいのかな、わるいのかな
～ようちゃんとママ～ 】

〈学習内容とねらい〉

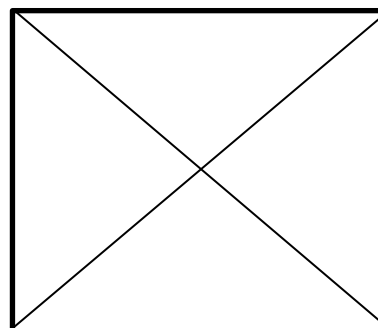
「いいのかな、わるいのかな～ようちゃんとママ～」という劇を見て、劇中でようちゃんがかくれてゲームをしたり、宿題もせず、ゲームをやめられない姿を見たりして、自分自身の行動を見つめなおすとともに、ゲーム依存の怖さに気付き、そうならないように自分で律する心を育てたり、おうちでのルールづくりをすすめたりすることの大切さに気付く。

〈児童の感想〉

- いぞんはこわい。べんきょうしてからゲームをしようと思う。やくそくをまもっていく。
- スマホ依存症にならないためには、親と時間を決めてスマホをやろうと思いました。

〈保護者の感想〉

インターネットやYouTubeを見るとき約束をしっかりと決めていなかったのが、①時間を決めてみる②ご飯のときは見ないなど家族で話し合いました。依存症にならないように、インターネットなどの利用について正しく向き合うことの大切さを改めて感じました。



【 3年：自分も大切に 友だちも大切に 】

〈学習内容とねらい〉

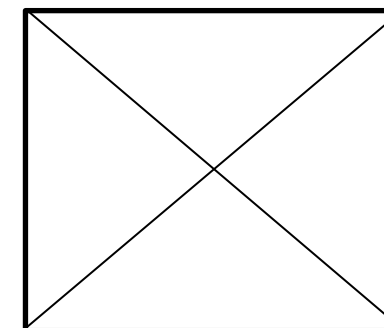
相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えることの大切さに気づき、自分も相手も大切にしたいコミュニケーション力を身につける。

〈児童の感想〉

人におねがいするときのつたえかたや、へんじのしかたで、言われたときの気分がかわると思ったので、これからは人に対する気もちのつたえ方を気をつけようと思った。

〈保護者の感想〉

自分も友だちを大切にするには、自分の意見や思ったことを伝える時には、友だちの気持ちを考えながら、やさしく伝えることが大切だということを話しました。相手が友達だけでなく家族、親子、兄弟、誰に対してもやさしさをもって話すことができれば、みんなが気持ちよく過ごせるので、どんな言葉でも丁寧に伝えようと思いました。



【 6年：せかいでさいしょにズボンをはいた 女の子 】

〈学習内容とねらい〉

日常生活で、当たり前だと感じることも性別についての先入観や必要のない区別があることに気づき、自分らしく生きるための考えをもつことができる。

〈児童の感想〉

女の子だから、男の子だからという今の当たり前にとらわれるのは、あまり良くないと思いました。自分から挑戦するのは、まだまだ勇気があるから、なかなかできないけれど、人のことを認めたり、尊重したりするのは今でもできるので、今自分ができることからやりたいと思いました。

〈保護者の感想〉

自分らしく生きて欲しい、そんな風に子どもに対して思う反面、集団の中でも上手に生きてほしい。そんな気持ちですが、個を尊重できるもの同士が増え、当たり前のように多様性を認め合う社会になるように、まずは私自身が意識して過ごしたいと思いました。

